

長旅を終え、日本へ帰ってきました。帰りの飛行機でも、行きと同じく、映画を見たりゲームをしたり話したりしていましたが、さすがに疲れたのか寝ている時間がたくさんあったようでした。

成田空港に到着した時、一緒に降りて来たのは外国人ばかりなので、「ここって日本!」と未だにイギリスにいるような感覚におそわれている生徒もいました。「楽しかった」、「もっと残っていたい」、「達成感がすごい」、「参加して本当によかった」等、様々想いがあるようです。ともかく、大きな問題もなく無事に帰って来られました。自己管理がしっかりできていたのでしょう。さすがだなと感じました。



↑成田空港にて。長旅お疲れ様でした！

この研修を終えて、生徒はたくさんの経験をしました。

1つ目は、英語中心の生活。誰かと話す時も、話を聞く時も頼みの綱は英語でした。英語しか使わないからこそ、ネイティブの人がよく使う表現、自分が言いたいけど言えない英語などが出てきます。英語を話せる・聞けるようになるには、たくさん話したり聞いたりするしかありません。実体験が次に繋がります。またこういう状況だからこそ、完璧な英語ではなくても相手は理解しようとしてくれること、相手もなんとか伝えようとしてくれていること、そして言葉だけがコミュニケーションの全てではないことを肌で感じたと思います。彼らが英語とどう付き合うか、今から楽しみです。

2つ目は、異文化体験です。食文化の違い、生活様式の違い、国による人の性格や個性の違いがあり、戸惑った部分があったでしょう。しかし、世界にはこんな物があり、こんな人が暮らしている、そしてこんな良い所がある、と違いを入れられるようになってほしいです。例えば、「〇〇は自分の国のことをよく知っていて、自分の国が大好きなんだと感じた」と振り返りを書いている生徒がいました。また他の国の人は、日本のこと（自分の国以外のこと）もよく知っていてすごいと感じた生徒も多くいました。素晴らしい発見です。万代高生も、自分の国や新しくできた友達の国について考えるでしょう。また外国の人は、とにかくよく発言するということも肌で感じたようです。だから英語もよく口にしていて、英語を発信する力が伸びるのでしょう。この姿勢も参考にしてほしいです。

最後は、挑戦することです。この研修に参加したこと自体が大きな挑戦ですが、生徒はよく頑張りました。難しい授業でも、全員が最後までやり通しました。また、最初は日本人でかたまる時間が多く、日本語の使用も多かったです。しかし、「休み時間こそ外語の人と過ごす」、「昼食を外国の人と一緒に食べる」、「日本人ととにかく英語で話すようにする」など毎日目標をもって、それを実行に移していました。一緒に寿司を食べに行った生徒もいました。その姿勢が素晴らしい。何事も、積極的に自分から挑戦できる大人になってほしいです。

自分を変える良い機会となったでしょうか。この経験を家族や学校の先生、クラスの仲間などと共有して、英語と挑戦心で学校を引っ張っていってくれることを期待します。本当にお疲れ様でした！